Storybooks Canada

storybookscanada.ca

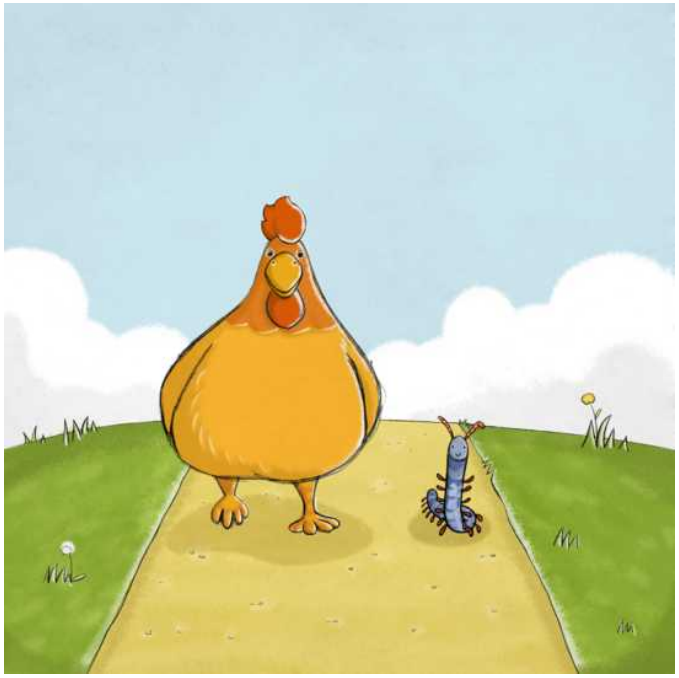
鶏とヤスデ

Written by: Winny Asara
Illustrated by: Magriet Brink
Translated by: Rion Nakamichi

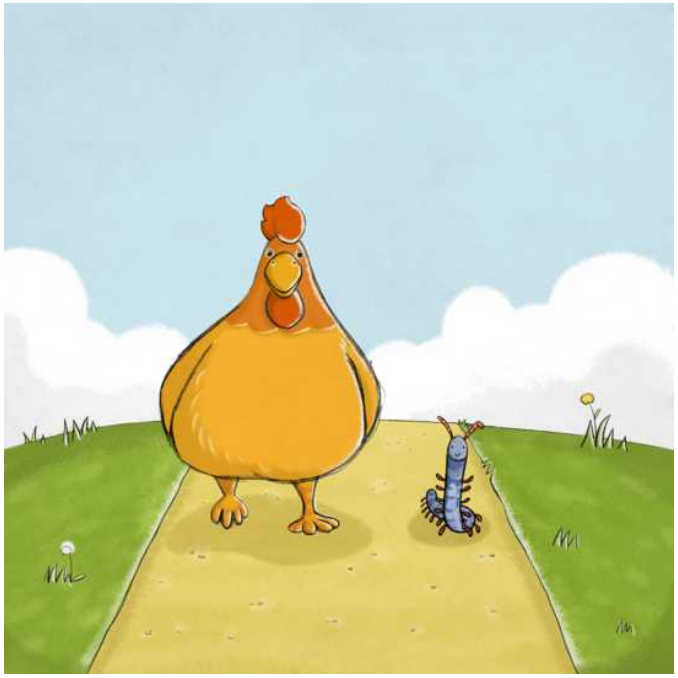
This story originates from the African Storybook (africanstorybook.org) and is brought to you by Storybooks Canada in an effort to provide children's stories in Canada's many languages.

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 3.0 International License.
https://creativecommons.org/licenses/by/3.0

鶏とヤスデ



Winny Asara
Magriet Brink
Rion Nakamichi
Japanese
Level 3



鶏とヤスデは友達だった。しかし、彼らはいつもお互い競い合っていた。ある日、彼らはどちらが上手いか見るためにサッカーをすることに決めた。

彼らはサッカー場へ行き、試合を始めた。鶏の足は速かったが、ヤスデはもっと速かった。鶏は遠くに蹴ったが、ヤスデはより遠くに蹴った。鶏は不機嫌になり始めた。

彼らはペナルティーキックをすることに決めた。初めにヤスデがゴールキーパーをした。鶏はわずか1点を決めた。次は鶏がゴールを守る番に代わった。

その時から鶏とヤスデは敵どうしなのである。

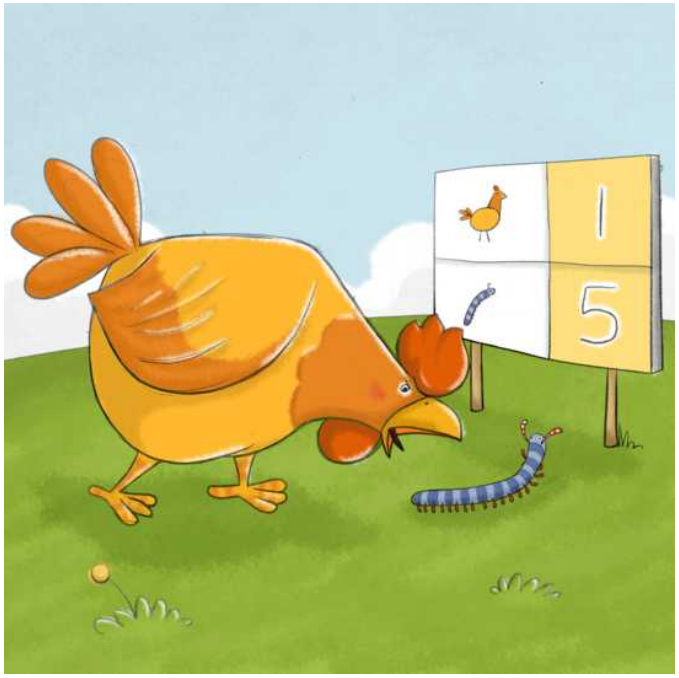
鶏はヤスデがお腹から外に出るまで咳をした。ヤスデとヤスデのお母さんは隠れるために木の上まで這った。

ヤスデはボールを蹴って点を決め、ドリブルをして点を決め、そして、ヘディングで点を決めた。ヤスデは5点も決めた。

鶏は負けて怒り狂った。彼女はとても悪い敗北者である。友達が大騒ぎしたので、ヤスデは笑い始めた。

鶏はゲップした。そのとき彼女は飲み込んだ。その後彼女は咳をした。さらに、咳をした。そして、ヤスデが嫌いになった。

ヤスデのお母さんは「特別な力を使いなさい！」と叫んだ。ヤスデはくさい臭いとひどい味を出すことができる。鶏は気持ち悪くなった。



鶏はとても怒って、口を大きく開き、ヤスデを飲み込んだ。

鶏が家に向かって歩いているとき、ヤスデのお母さんに会った。ヤスデのお母さんは「私の息子を見なかったかい？」と尋ねた。鶏は何も言わなかった。ヤスデのお母さんは心配した。

そのとき、ヤスデのお母さんは「お母さん助けて！」という小さな泣いている声を聞いた。お母さんは周りを見渡し、注意深く聞いた。その声は鶏の身体の中からしていた。